

ヒロセ電機 2020年3月期第2四半期 決算説明会

# 2020年3月期 第2四半期 決算説明会

**2019年11月5日**

**ヒロセ電機株式会社**

[6806]

## 注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

2019年度  
第2四半期 累計  
(4月~9月)

受注高 **623.3** 億円  
(対前年同期比 -7.8%)

売上高 **602.7** 億円  
(対前年同期比 -2.7%)

営業利益 **115.3** 億円 ※利益率 **19.1**%  
(対前年同期比 -4.1%)

米中貿易摩擦による景況感の悪化や中国景気減速、自動車販売不振(欧米、中国等)による停滞感を解消しきれず、減収・減益となった。

## 一般産機

一般産機市場向け売上は、昨年度後半から続いていた減少傾向に歯止めがかかったが、対前年同期比では、-20%となった。

## スマートフォン

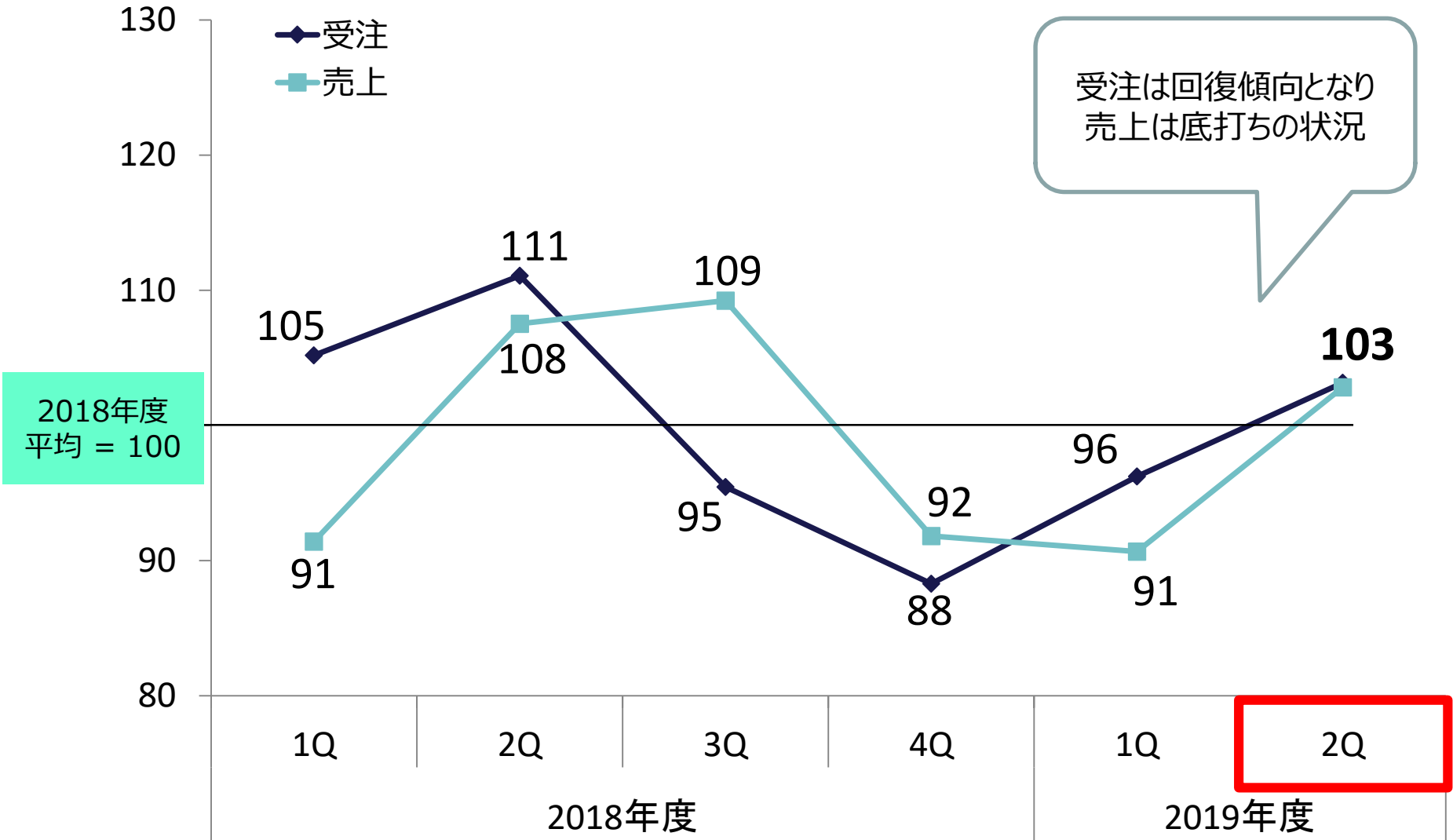
スマートフォン市場向け売上は、例年通り2Qの中国・韓国向け等需要増が寄与し、対前年同期比 +13% となった。

## 自動車

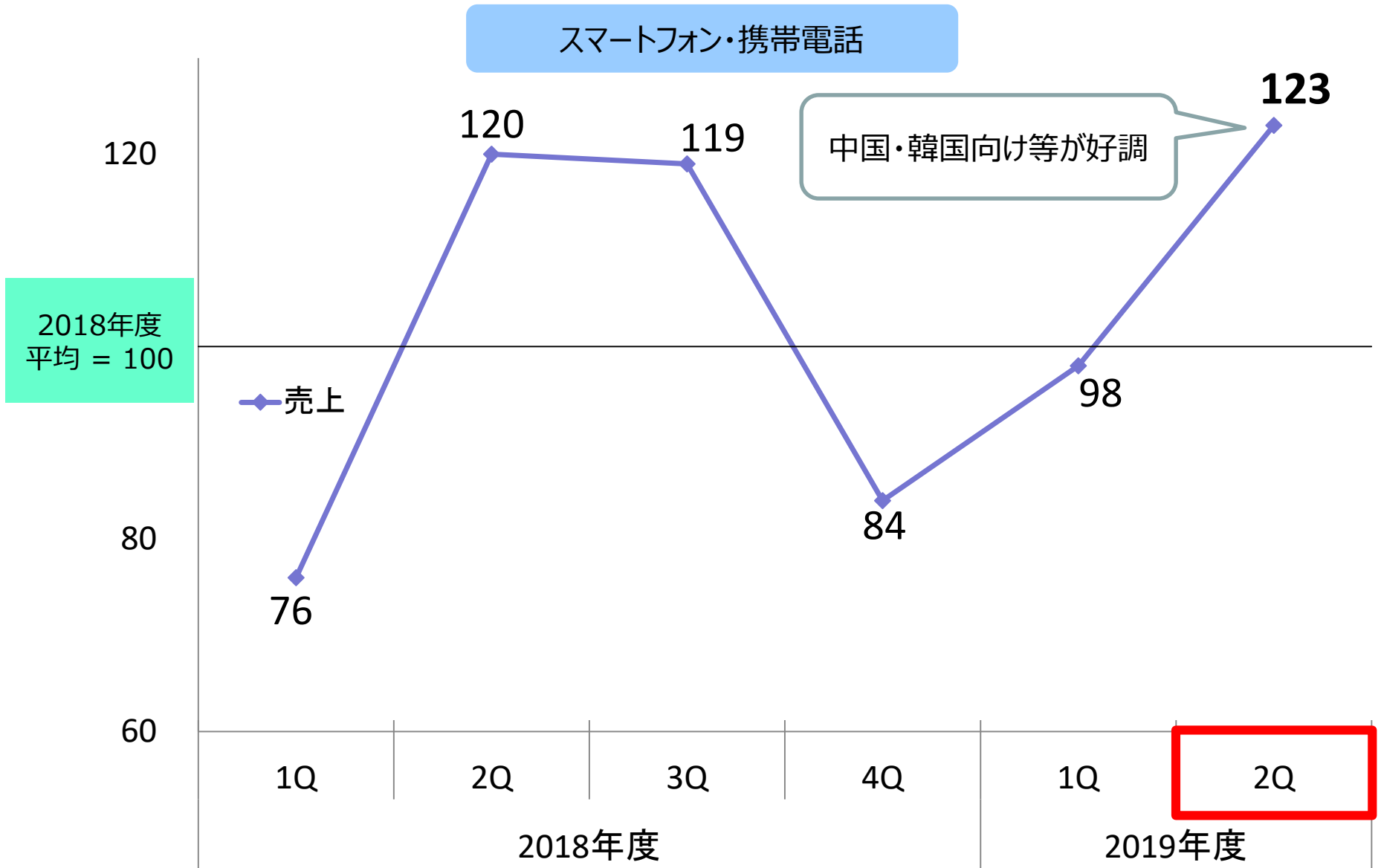
自動車市場向け売上は、自動車の販売不振の影響で、既存品の減少傾向が長引いたこともあり、一部新製品の投入もあったが、対前年同期比 +2% となった。

# 2018年度1Q～2019年度2Q 受注・売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）

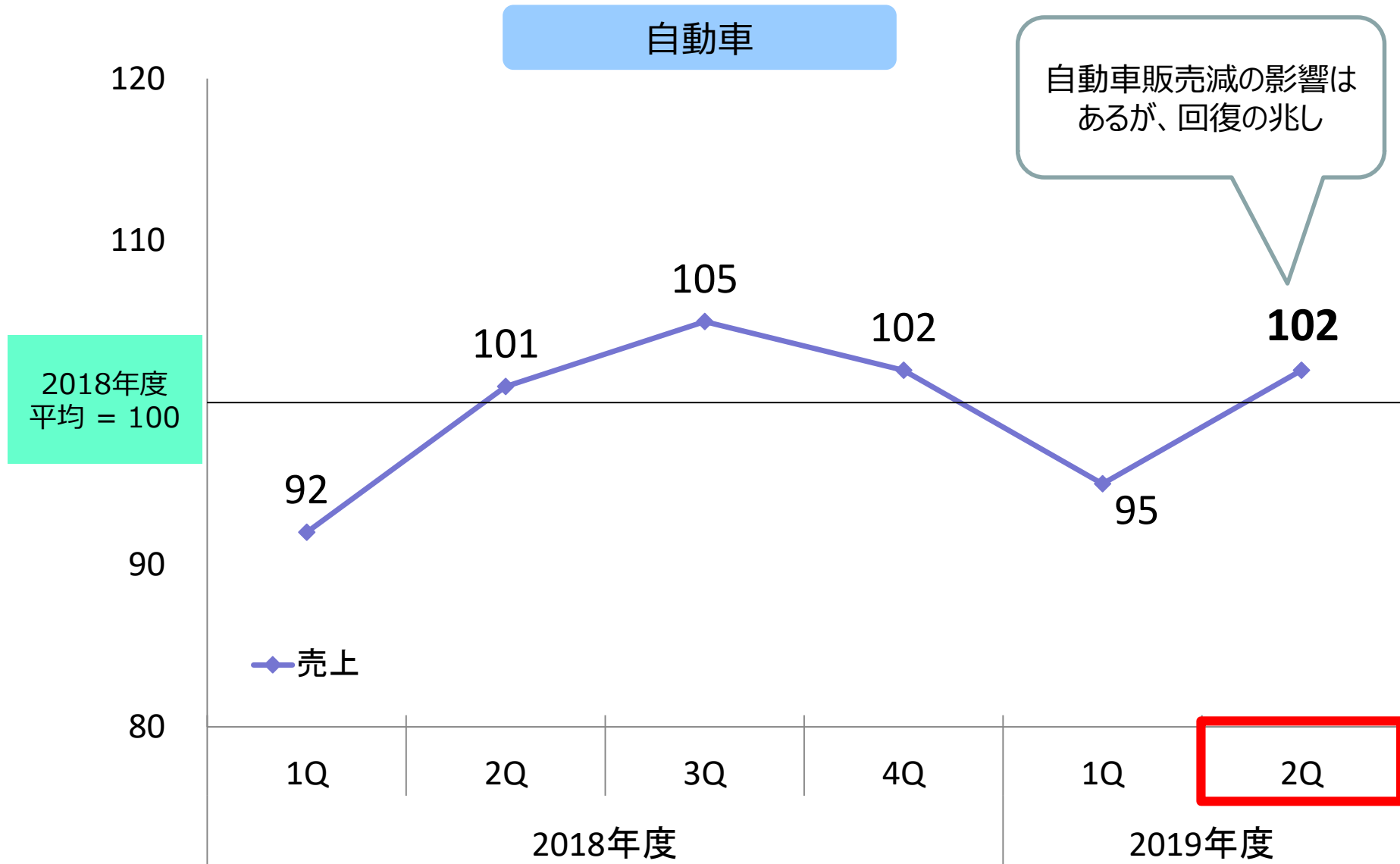
## 全体



## 2018年度1Q～2019年度2Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）

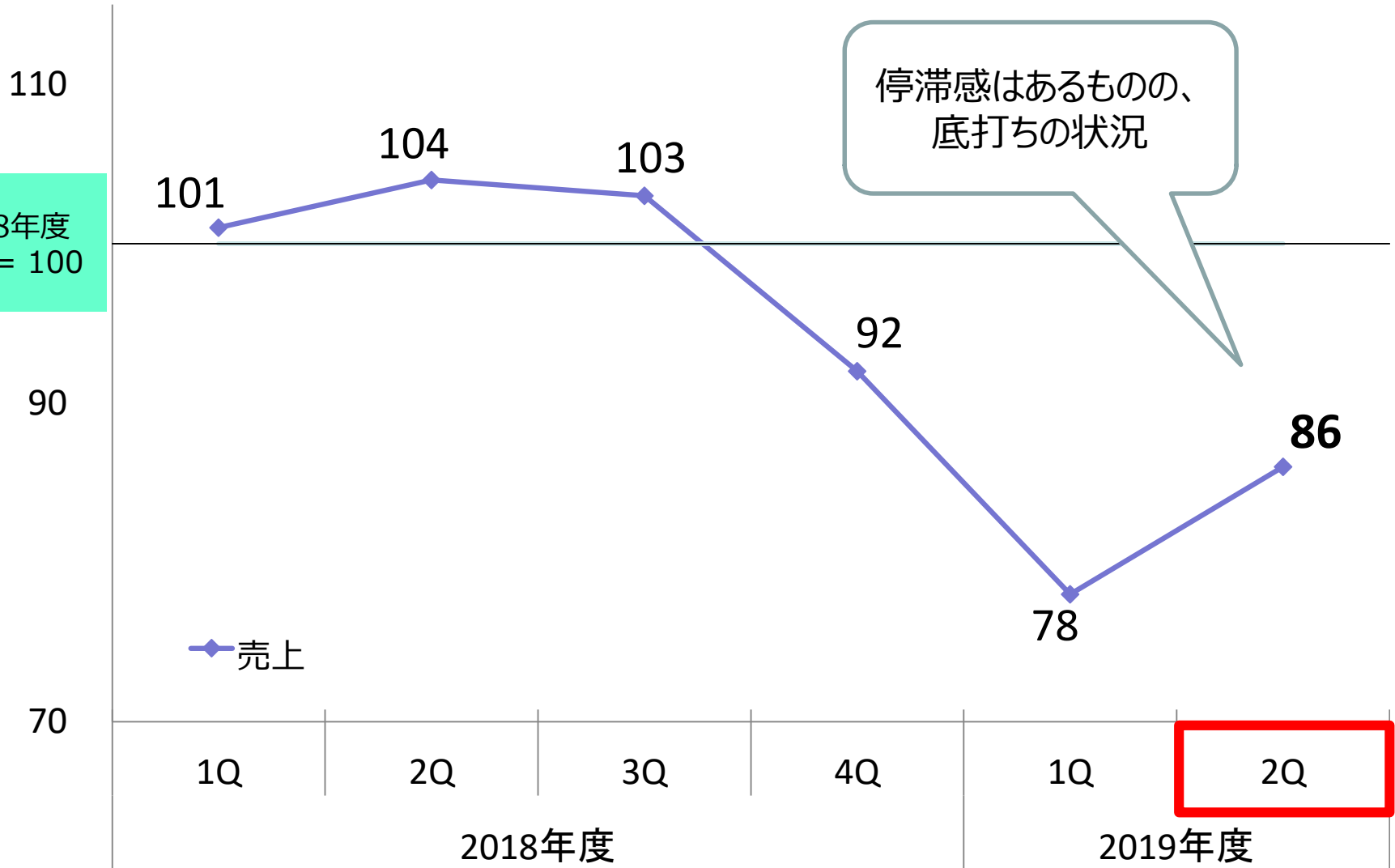


## 2018年度1Q～2019年度2Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）



## 2018年度1Q～2019年度2Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）

一般産機（電子応用、F A制御、その他）

2018年度  
平均 = 100

## 2019年度 第2四半期 連結決算概要【IFRS】

(金額単位：億円)

	2018年度 上期 (2018/9月期)	2019年度 公表値	2019年度 上期 (2019/9月期)	増減額 (対前年同期比)	増減比 (対前年同期比)
<b>売上高</b>	<b>619.6</b>	<b>620.0</b>	<b>602.7</b>	<b>-17.0</b>	<b>-2.7%</b>
売上原価率	55.6%	55.6%	57.1%	+1.5	
販売・管理費比率	25.0%	25.0%	25.0%	0.0	
<b>営業利益</b>	<b>120.2</b>	<b>110.0</b>	<b>115.3</b>	<b>-4.9</b>	<b>-4.1%</b>
(%)	19.4%	17.7%	19.1%	-0.3	
<b>税引前利益</b>	<b>130.4</b>	<b>115.0</b>	<b>120.9</b>	<b>-9.5</b>	<b>-7.3%</b>
(%)	21.0%	18.5%	20.1%	-0.9	
<b>当期利益</b>	<b>93.2</b>	<b>80.0</b>	<b>85.7</b>	<b>-7.5</b>	<b>-8.1%</b>
(%)	15.0%	12.9%	14.2%	-0.8	
総資産残高	<b>3,455.3</b>		<b>3,434.5</b>		
自己資本比率	<b>89.4%</b>		<b>89.2%</b>		
1株当たり当期利益	<b>254.91円</b>		<b>235.12円</b>		



(単位：億円)

## ■ 売上高

**17.0 億円 減** (619.6 億円 → 602.7 億円)

ヒロセ単体 : -21.8 億円  
子会社 : +4.8 億円

## ■ 売上原価率

**1.5 ポイント悪化** (55.6% → 57.1%)

仕入原価費率 : 38.6% → **39.1 %**  
減価償却費率 : 8.2% → **10.1 %**

## ■ 販売・管理費比率

**± 0ポイント** (25.0% → 25.0%)

155.0 億円 → 150.7 億円 (4.3億円 減少)

## ■ 金融収益・費用

**4.6 億円 悪化** (+10.1 億円 → +5.5 億円)為替差損益 : **+5.1 億円** → **-0.6 億円**

## 2019年度 第2四半期 対前年同期 変動分析

(単位:億円)

	売上	営業利益	営業利益率	税前利益	税前利益率
<b>2018年度 2Q実績</b>	<b>619.6</b>	<b>120.2</b>	<b>19.4%</b>	<b>130.4</b>	<b>21.0%</b>
為替影響	-17.5	-4.7		-10.6	
減価償却費増		-10.6		-10.6	
人件費減		0.8		0.8	
物量増	0.5	0.1		0.1	
土地売却益		8.4		8.4	
その他		1.1		2.4	
変動額計	-17.0	-4.9		-9.5	
<b>2019年度 2Q実績</b>	<b>602.7</b>	<b>115.3</b>	<b>19.1%</b>	<b>120.9</b>	<b>20.1%</b>

## 2019年度 第2四半期 為替影響

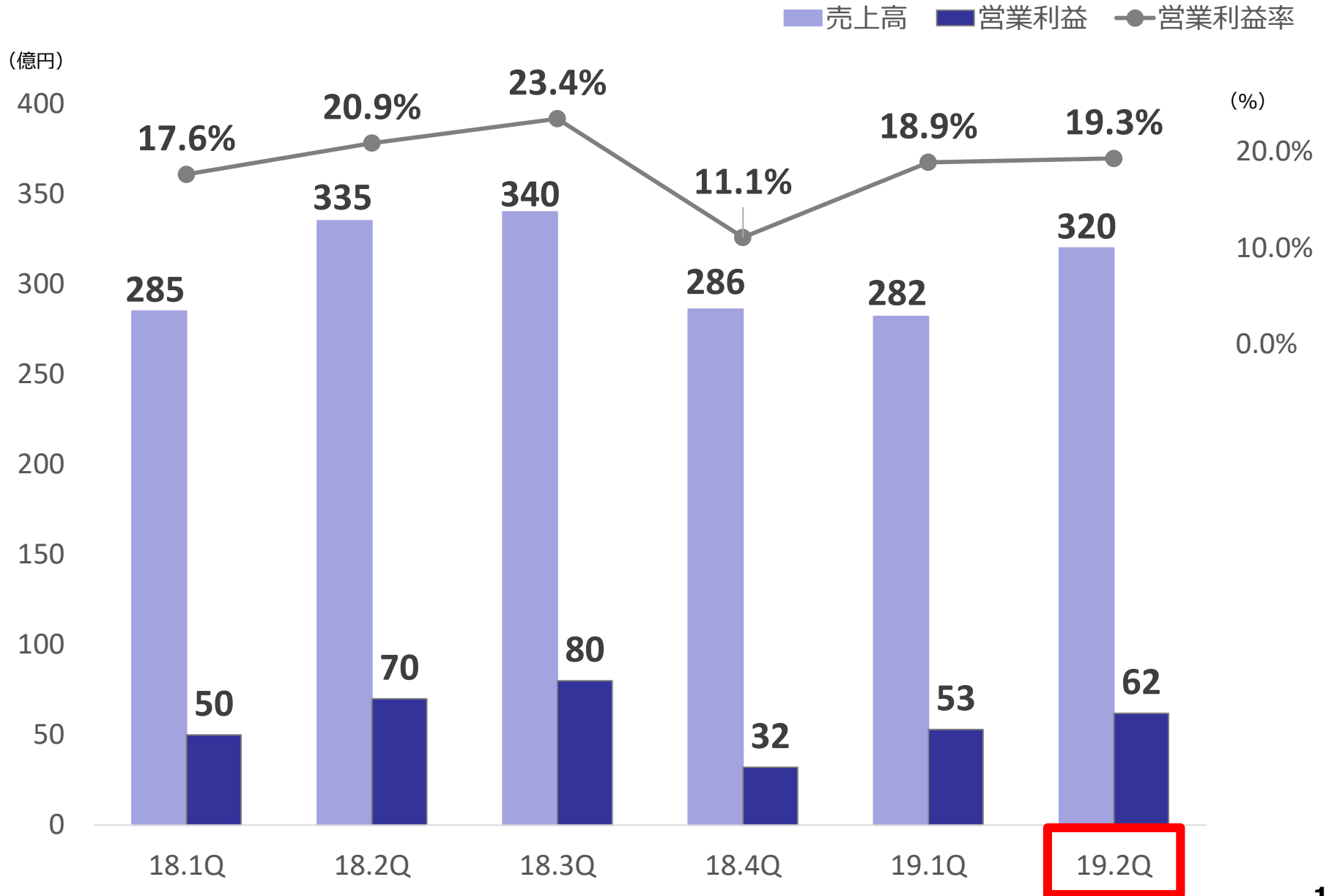
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期
為替レート：US\$	110.26円	108.63円
為替レート：€	129.85円	121.42円
為替レート：100ウォン	10.04円	9.22円



(単位：億円)

対前年同期為替影響額	
売上高	<b>-17.5</b>
営業利益	<b>-4.7</b>
税引前利益	<b>-10.6</b>

## 2018年度1Q～2019年度2Q 四半期別 売上・利益推移



## 連結貸借対照表主要増減

( 億円 )

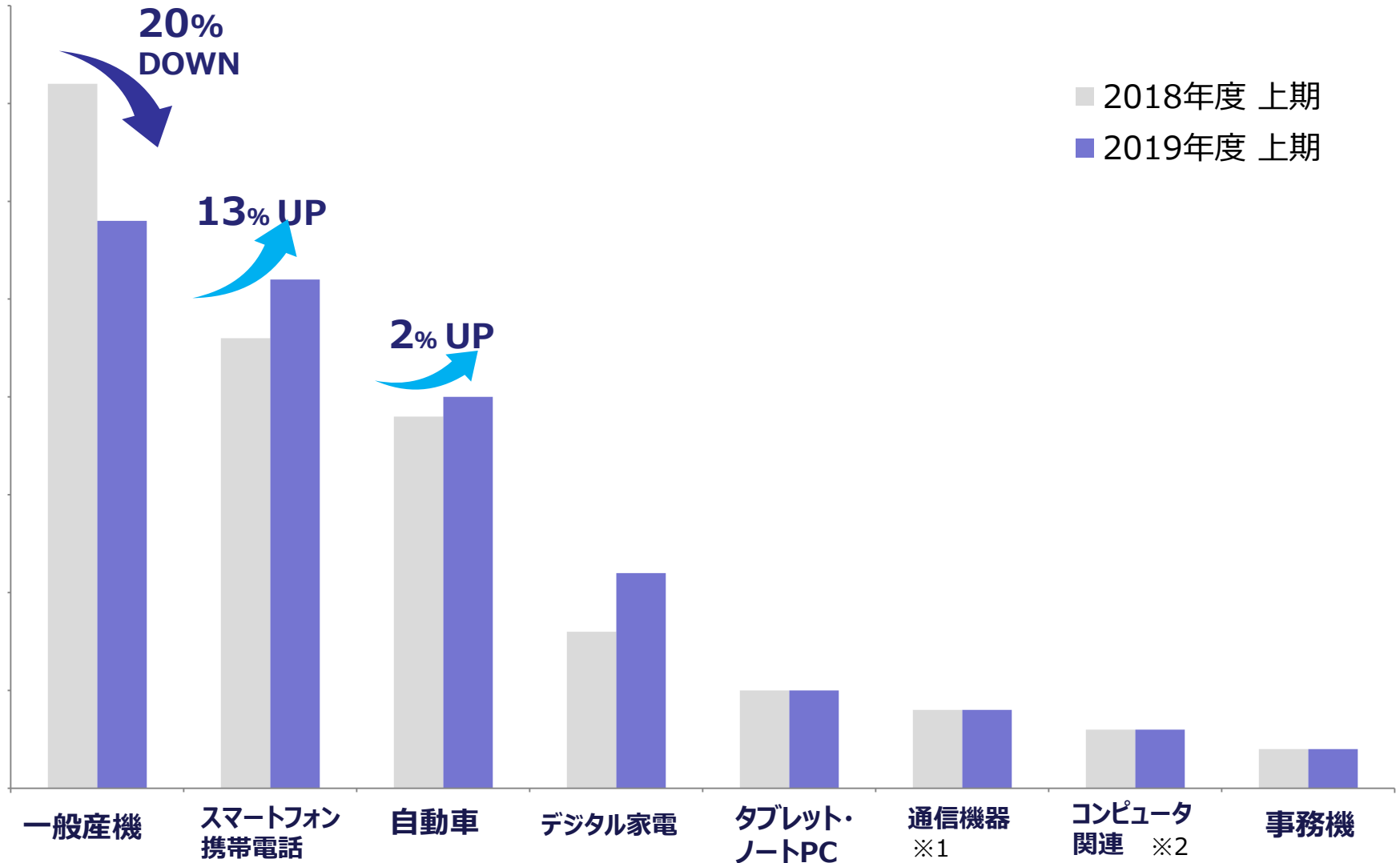
区分	科目	2019/3末	2019/9末	増減額	備考
資	現金及び 現金同等物	523.2	551.0	27.8	3ヶ月超定期預金からの振替、他
	営業債権及び その他の債権	295.4	308.6	13.2	
	棚卸資産	139.4	138.5	-0.9	スマホ向けの在庫減
産	その他金融資産	1,728.8	1,676.4	-52.4	本社未収消費税還付△26.6億 社債△4.0億
	有形固定資産	627.4	631.8	4.4	
	使用権資産	—	46.0	46.0	IFRS16適用のためリース取引を 使用権資産として計上
	その他	100.0	82.2	-17.8	
	合 計	3,414.3	3,434.5	20.2	
	現預金合計	1,727.6	1,703.9	-23.7	

## 連結貸借対照表主要増減

(億円)

区分	科目	2019/3末	2019/9末	増減額	備考
負債	支払債務及び その他の債務	193.1	168.1	-25.0	
	リース負債	—	46.0	46.0	IFRS16適用によるリース負債を 計上
	未払法人税	30.9	35.6	4.7	
	その他	117.1	121.4	4.3	
		341.0	371.2	30.2	
純 資 産	資本金及び 資本剰余金	207.2	207.1	-0.1	
	利益剰余金	3,033.5	3,060.7	27.2	当期利益 85.7 億円 - 配当 43.8億円 - 自己株消却 14.9
	自己株式	-232.1	-217.3	14.8	自己株式消却 +14.9
	その他	64.8	12.8	-52.0	為替換算調整勘定 -59.3
	合計	3,073.3	3,063.3	-10.0	
	負債及び純資産合計	3,414.3	3,434.5	20.2	

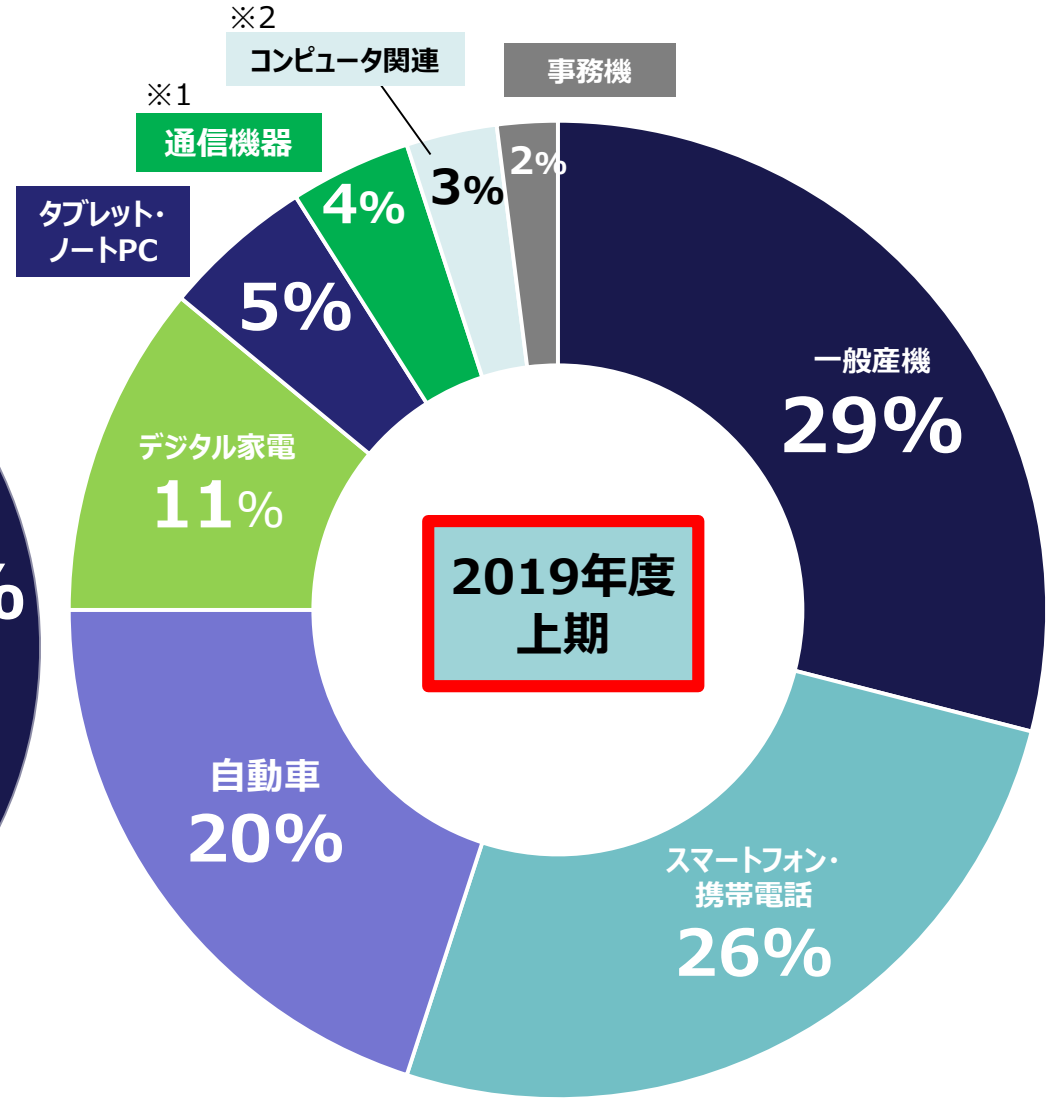
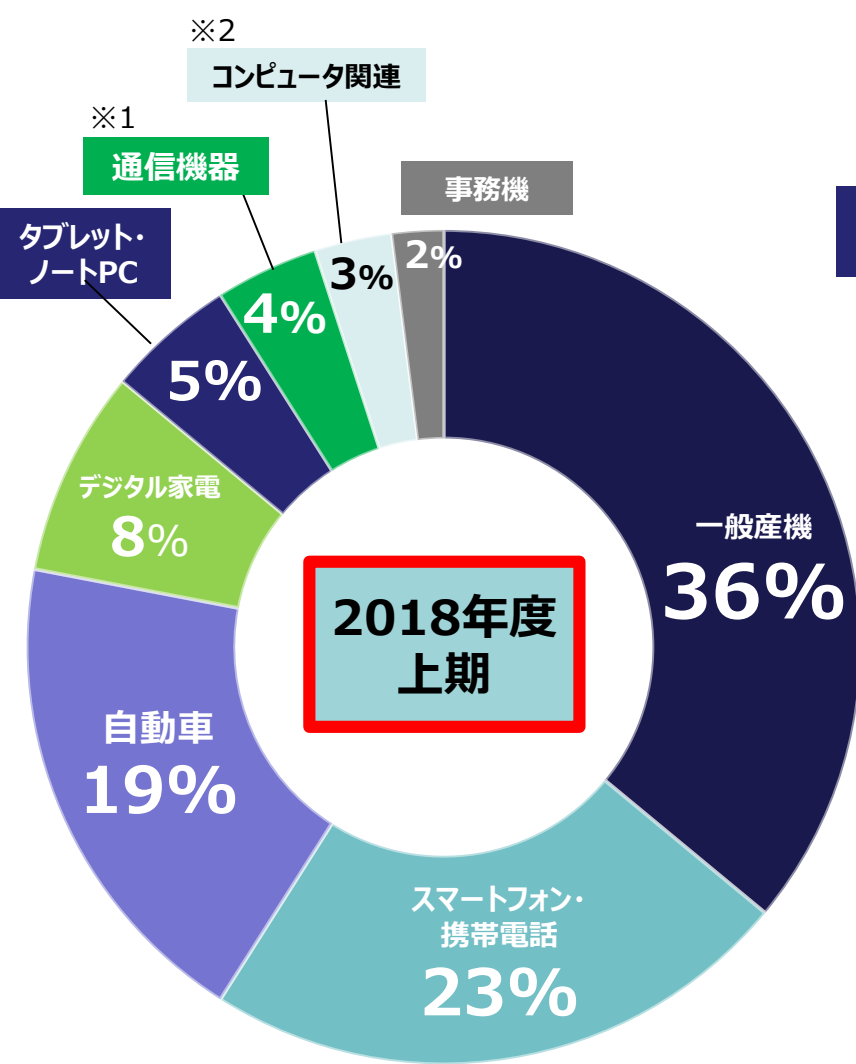
# コネクタ用途別売上 前年比較（概数）【連結ベース】



用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性  
があることをご承知願います。

※1通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器  
※2コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

# コネクタ用途別売上構成比（概数）【連結ベース】

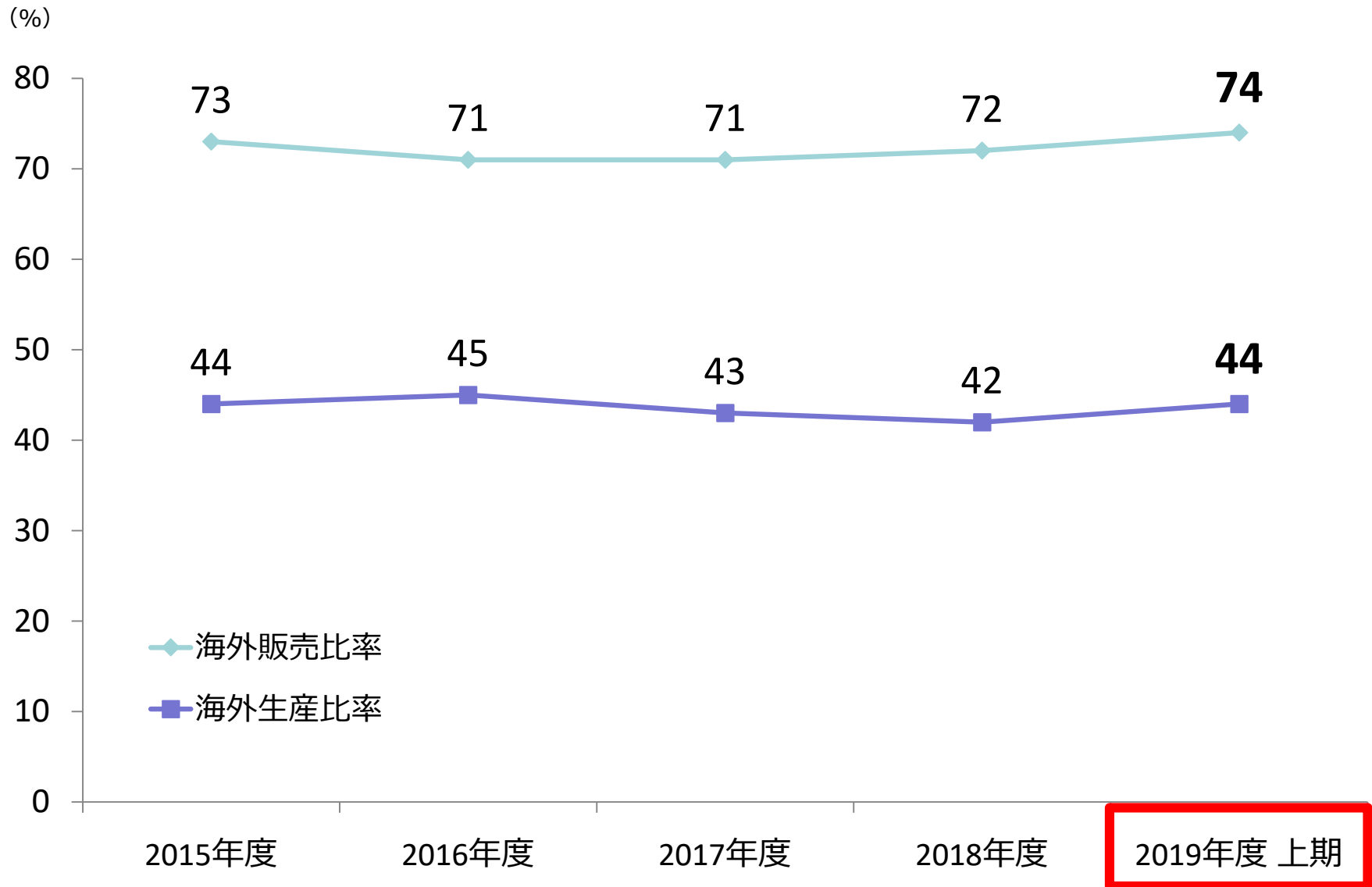


用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性  
があることをご承知願います。

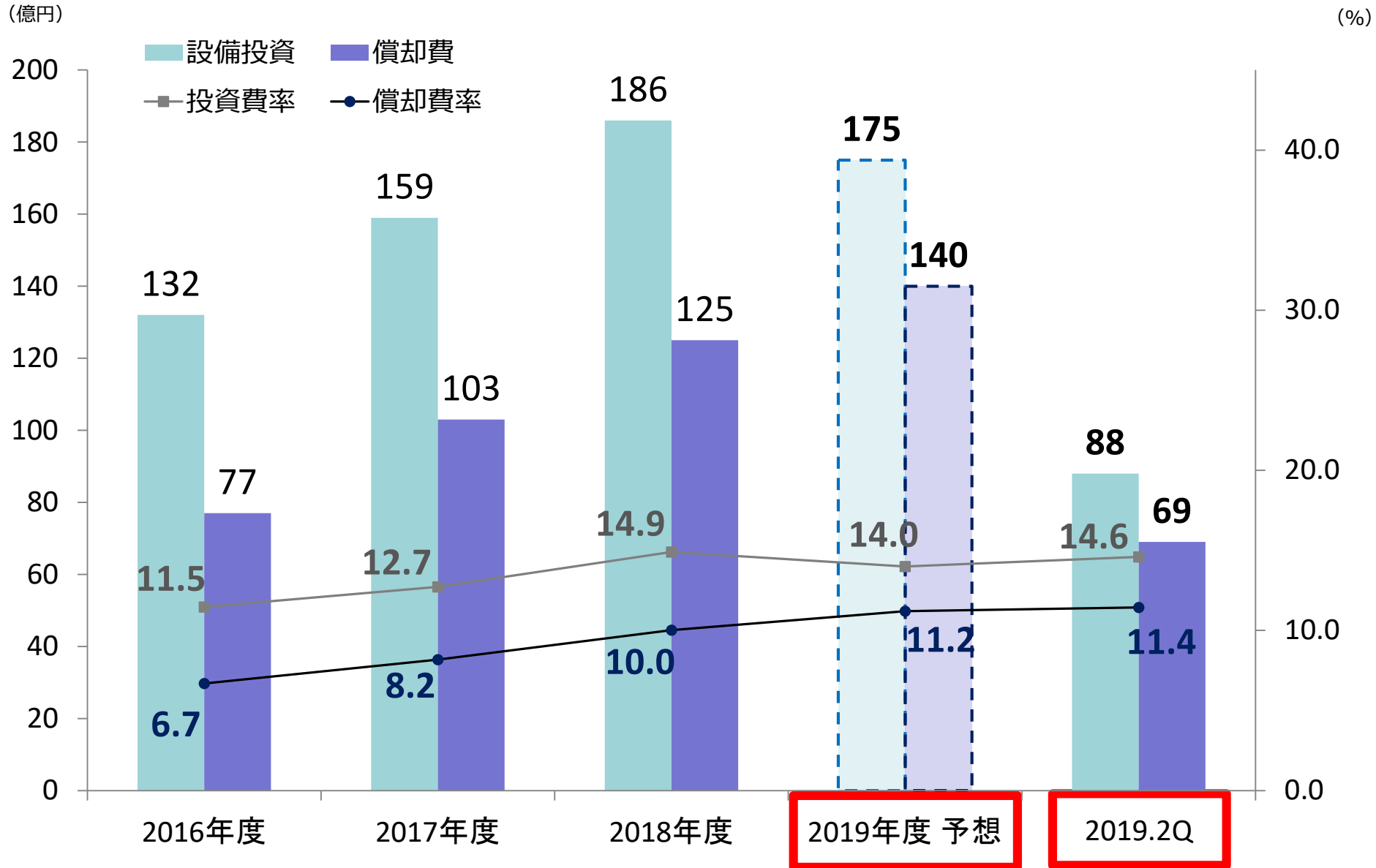
※1通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器  
※2コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器



## 海外生産比率・海外販売比率 推移



# 設備投資・償却費 推移（連結ベース）

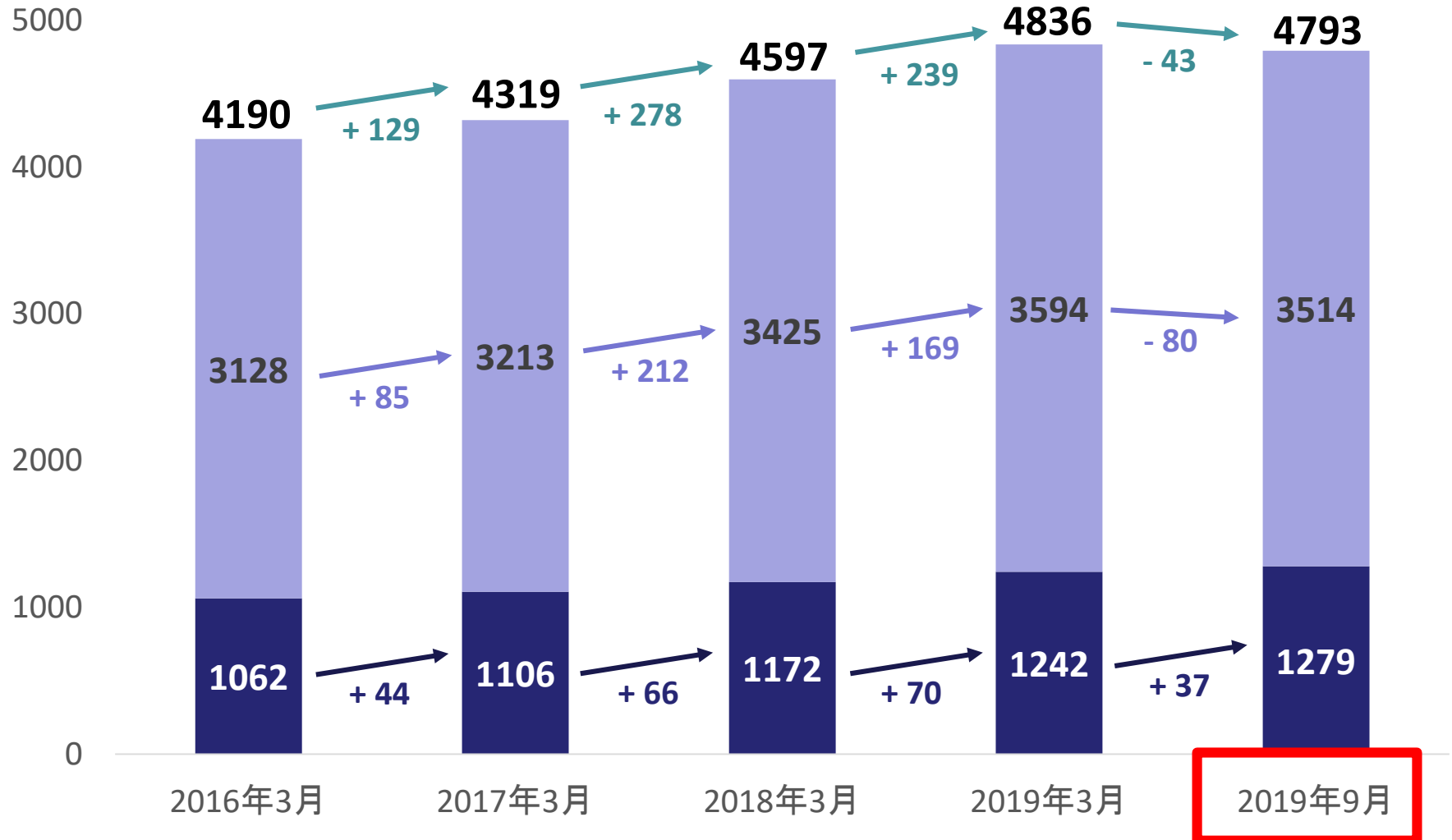


(※除く土地・建物・ソフトウェア投資)

## 従業員数 推移 (有報ベース)

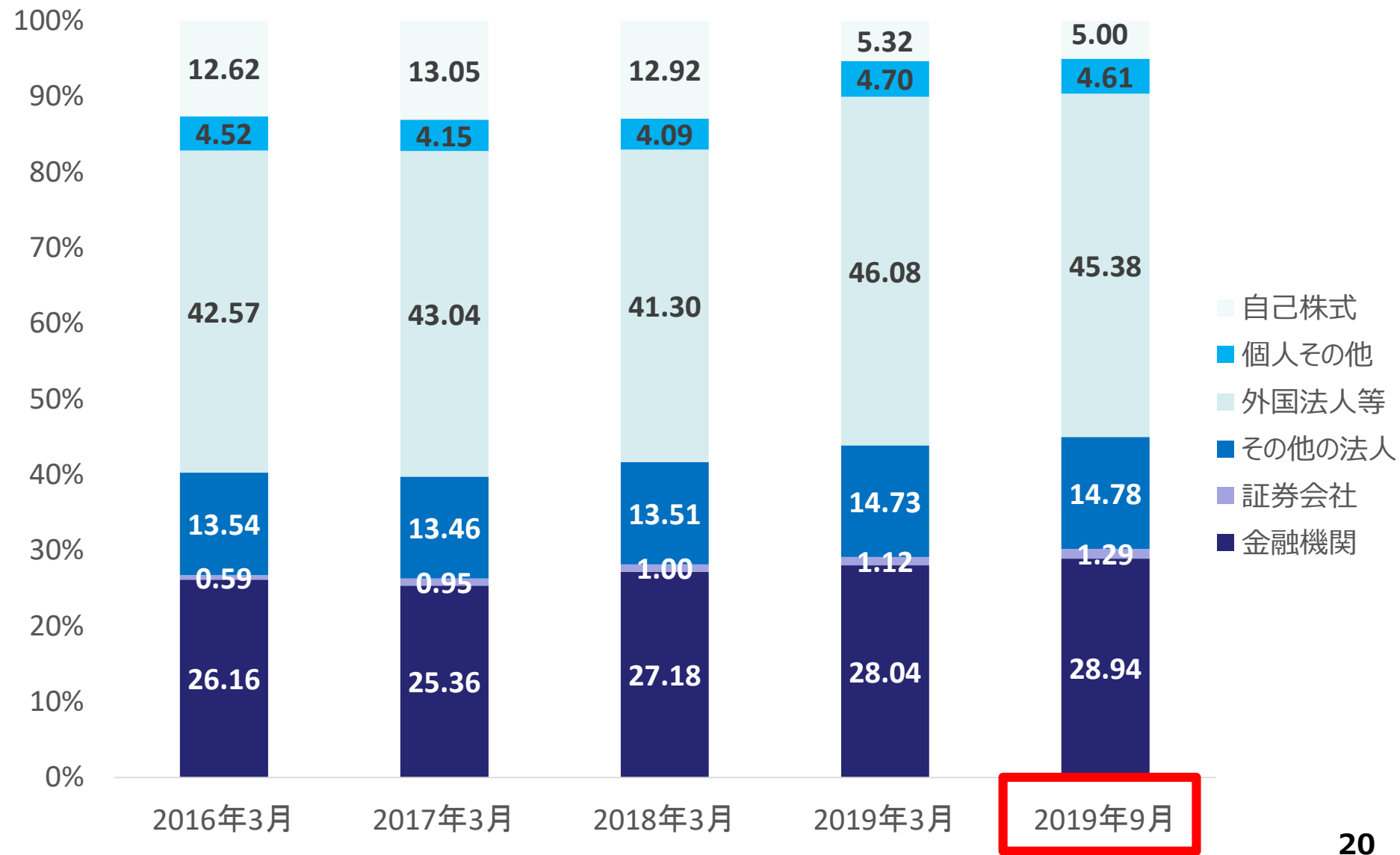
(人)

■ 海外 ■ 国内



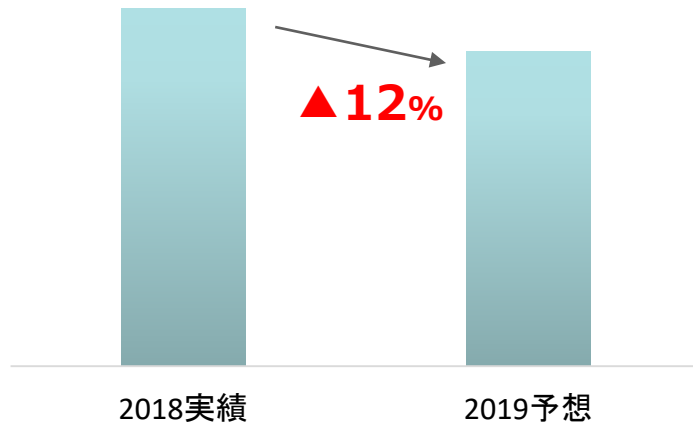
# 株主分布推移

単元株主数 (人)      3,182      2,904      3,150      3,369      3,234



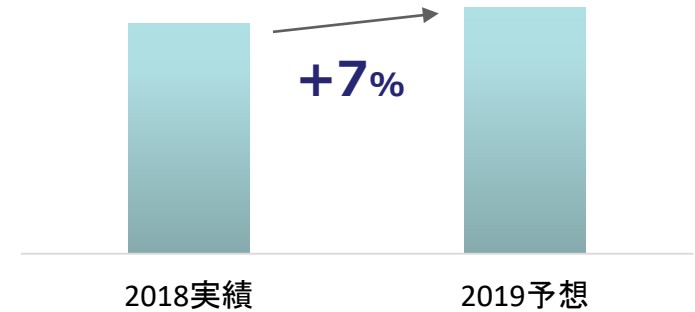
## 2019年度 分野別 動向（予想アップデート）

## 一般産機



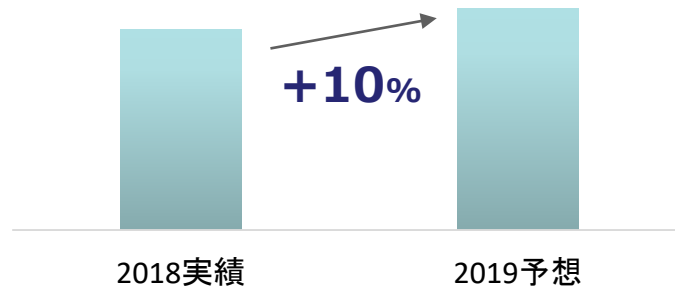
需要回復の遅れにより下方修正

## スマートフォン・携帯電話



スマホ高機能（5G）による需要継続

## 自動車



新規採用品は予定通り、  
中国・欧州の自動車販売  
台数減で既存品に影響

# 2020年3月期 業績予想（連結）【IFRS】

産機・自動車向けビジネスが当初予想を下回る見込みのため、  
2019.5の公表値を修正致します。

（金額単位：億円）

	2018度(2019年3月期) 実績		2019年度(2020年3月期)			第2四半期累計 対前年実績		通期 対前年実績	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計 実績	2019.5 公表値	通期 予想	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	619.6	1,245.9	<b>602.7</b>	<b>1,300.0</b>	<b>1,250.0</b>	-17.0	-2.7%	+0.4	+0.3%
売上原価率	55.6%	56.1%	<b>57.1%</b>	56.9%	<b>58.2%</b>				
営業利益	120.2	231.6	<b>115.3</b>	<b>250.0</b>	<b>220.0</b>	-4.9	-4.1%	-11.6	-5.0%
(%)	19.4%	18.6%	<b>19.1%</b>	19.2%	<b>17.6%</b>				
税前利益	130.4	246.7	<b>120.9</b>	<b>260.0</b>	<b>230.0</b>	-9.5	-7.3%	-16.7	-6.8%
(%)	21.0%	19.8%	<b>20.1%</b>	20.0%	<b>18.4%</b>				
当期利益	93.3	178.9	<b>85.7</b>	<b>185.0</b>	<b>175.0</b>	-7.5	-8.1%	-0.4	-2.2%
(%)	15.0%	14.4%	<b>14.2%</b>	14.2%	<b>14.0%</b>				
一株当り当期利益	—	<b>489.46円</b>	—	507.37円	<b>479.94円</b>	為替レート	2018年度 実績	2019年度 2Q実績	2019年度 予想
一株当り配当	<b>120円</b>	<b>240円</b>	<b>120円</b>	240円	<b>240円</b>	1US\$	<b>110.26円</b>	<b>108.63円</b>	<b>108.50円</b>
						1€	<b>129.85円</b>	<b>121.42円</b>	<b>120.60円</b>
連結配当性向	—	<b>49.0%</b>	—	47.3%	<b>50.0%</b>	100won	<b>10.04円</b>	<b>9.22円</b>	<b>9.24円</b>

ヒロセ電機 2020年3月期 第2四半期 決算説明会

# “2019”中長期成長戦略の進捗について

2019年11月5日

**ヒロセ電機株式会社**

代表取締役社長  
石井 和徳

## 注意事項

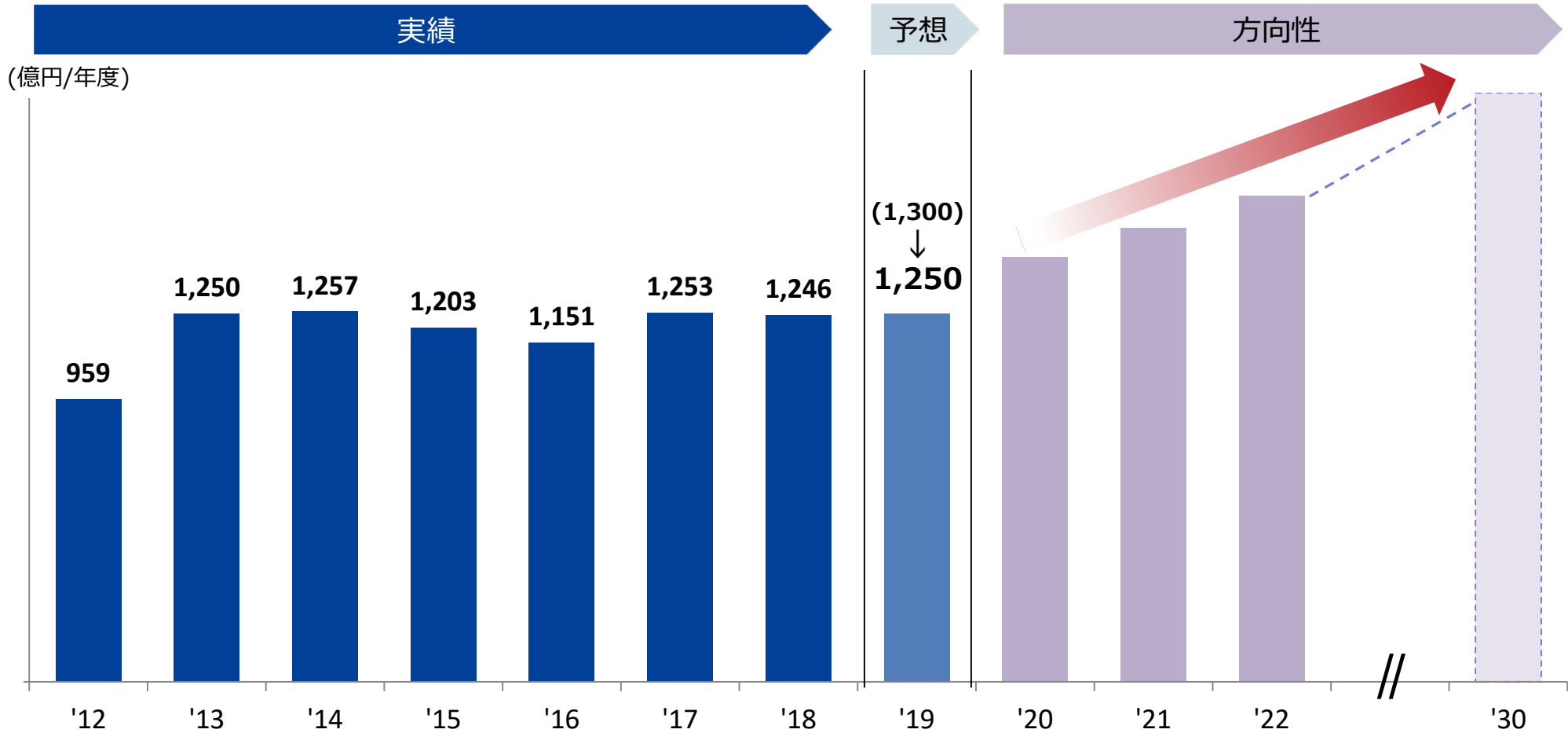
本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。



# HRS : 成長イメージ 〈再掲+〉

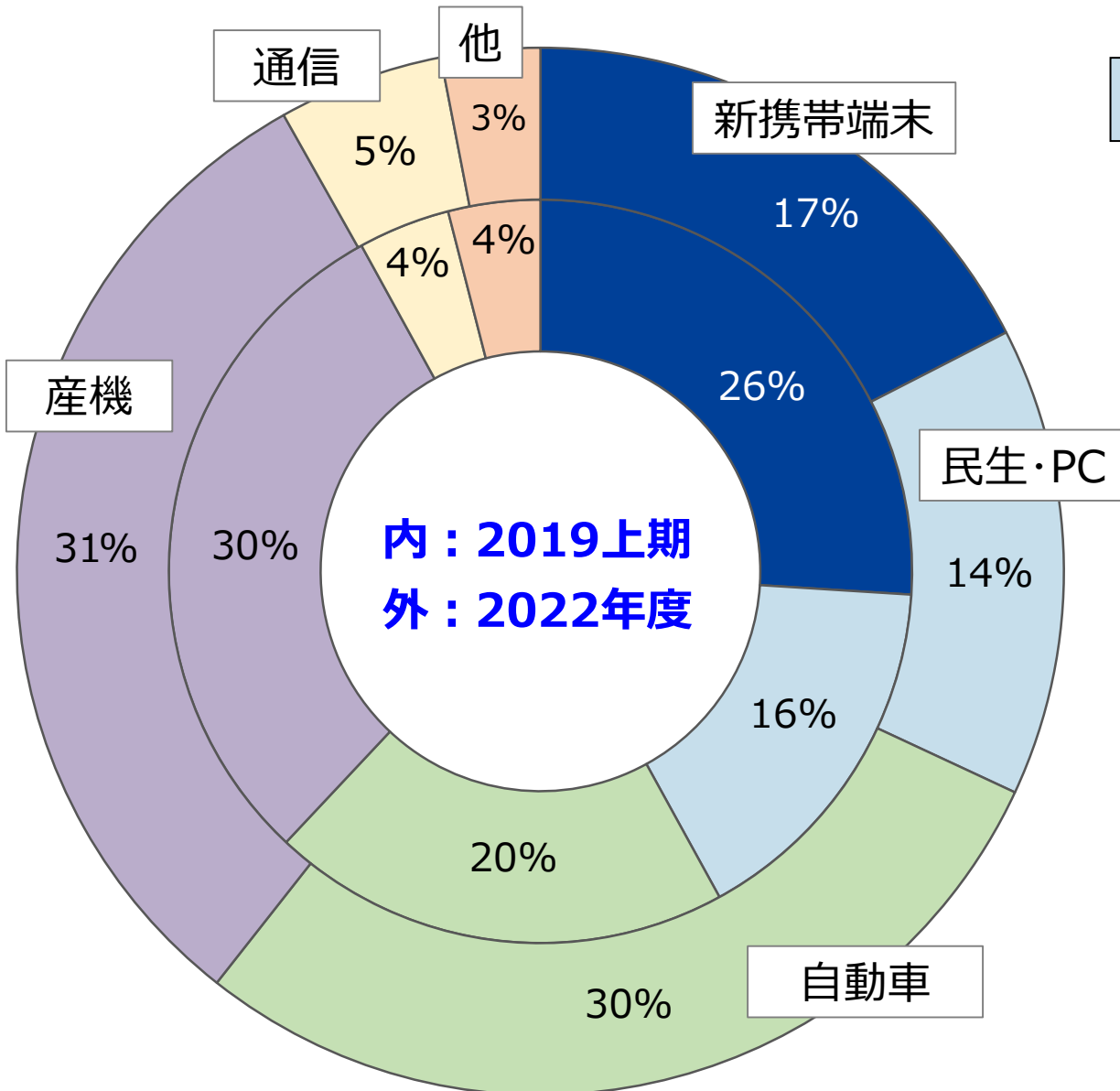
高収益経営を維持し、中長期的に力強い成長



2018~2019年度 結果、見通し：“後退”  
 2020年度 以降を起点に 回復させる（再チャレンジ）

⇒ 1年スリップ°

# 中期分野構成比イメージ〈再掲+〉



2019上期

- スマホ: 堅調な成長、新情報端末: 拡大
- 5Gへの動きがスタート
- 産機市場の減速継続



2022

- 「スマホ・コンシューマ」「車載」「産機・インフラ」の3本柱での成長計画
- 更なる先への仕掛け強化

⇒ **継続成長に向けて  
バランスの良いビジネス構造の確立**

# 10月12～13日 台風19号による郡山ヒロセの被害 影響に関して

## 10/13～14 初期状況



## 復旧後（10/24撮影）



エレベータ故障にて  
昇降機を仮設

10/13 阿武隈川の氾濫により郡山工場 1階部分が浸水。

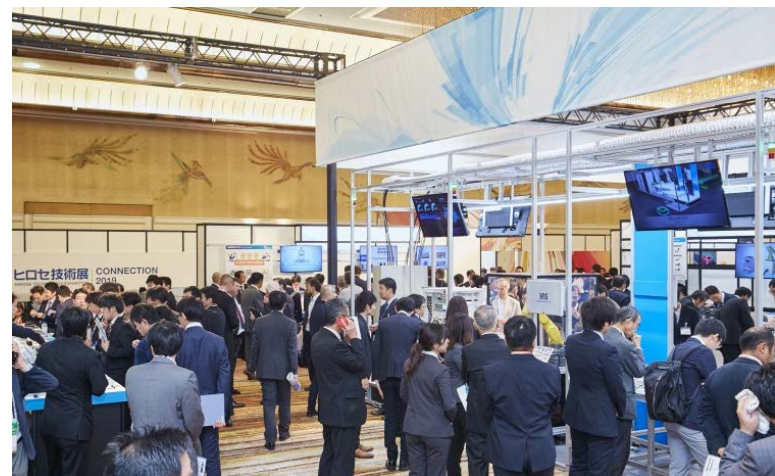
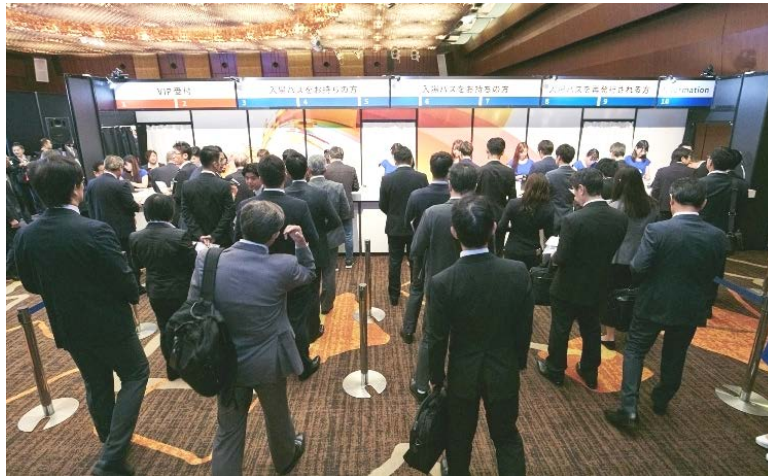
10/14 水が引き、被害状況把握と一部復旧作業開始。

10/16 復旧業務を本格化。

10/21 殆どの品目の生産・出荷に対応。

- 従業員自宅被害や協力会社へのケア
- 被害(軽微)から完全復旧へ
- 将来の気候変動リスク対策を強化

# ヒロセ技術展〈 CONNECTION 2019 〉

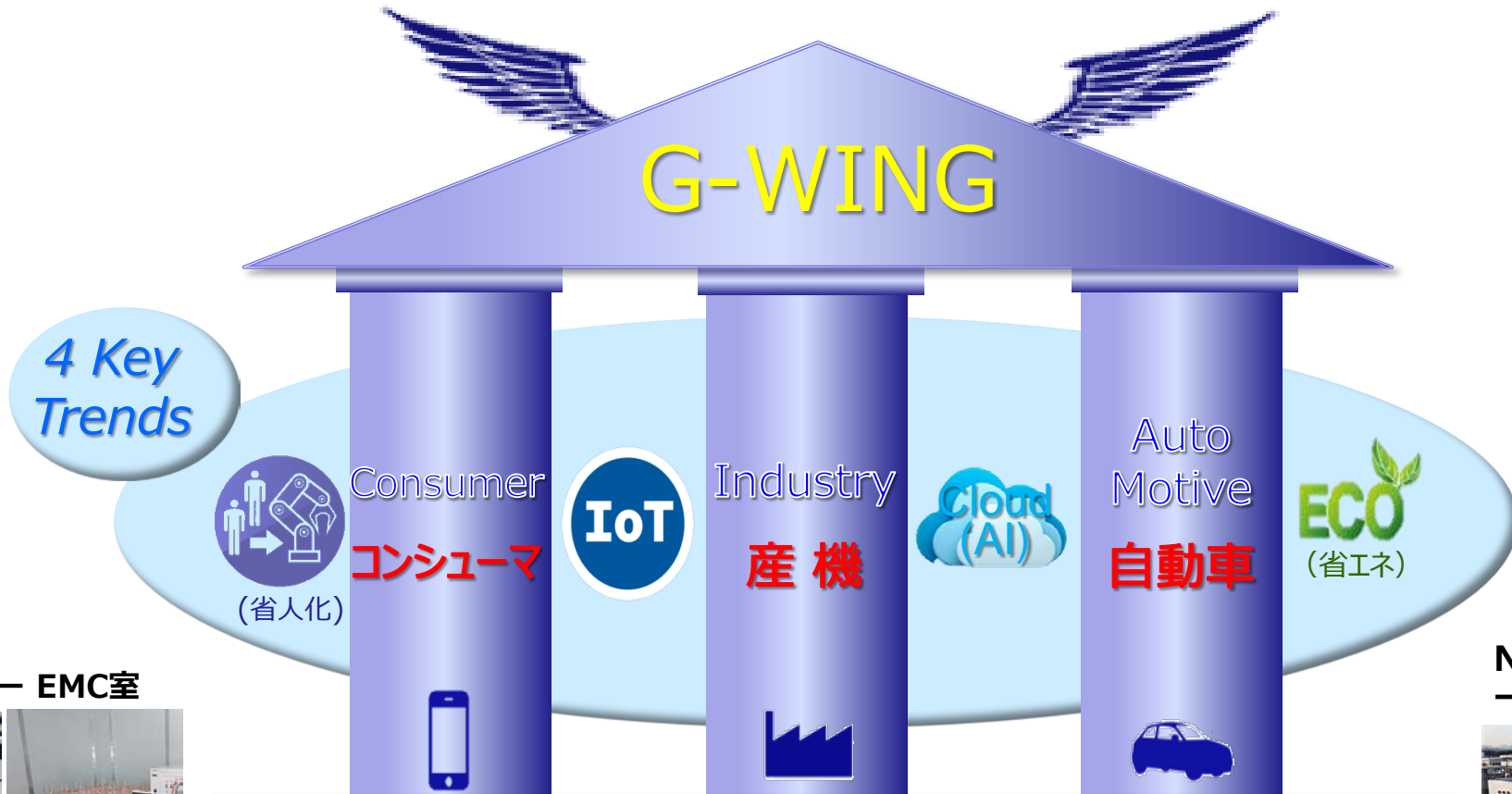


〔東京〕東京プリンスホテル 10月17日（木）～18日（金）

〔大阪〕グランキューブ大阪 11月28日（木）～29日（金）にて開催

写真は東京会場  
4,130名のご来場

皆様のお声を、未来プロダクトに展開してまいります。  
引き続きのご支援・ご協力 よろしくお願い申し上げます。



横浜センター EMC室



New 一関試験センター



HRS/4 Key Tech : ①「高速」, ②「高周波」, ③「ハイパワー」, ④「小型化」

『変化・成長 : 3本柱』へ『“①~④ Key Tech” + “解析・分析力”』⇒ 分野横断・差異化提案力強化

➤ 『G-WING(中計)』達成へパワーUP、結果を出す

- 〈1〉モノづくり力
  - 〈2〉技術開発力
  - 〈3〉Global対応力・現地力
- } “進化”

◀ + ▶

『“大変化の市場環境” ← 3本柱の展開遅れ、土台構築中』

実行力の加速

➤ 手元と中・長期の二軸での対策を急ぐ！

**HRS** HIROSE  
ELECTRIC  
CO.,LTD.